

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校
学校だより 第4号
令和7年10月9日

「前期終了式(CKTS 躍動!!)」(県特別支援学校高等部スポーツ大会・光 toku 祭)

今日は、前期の最後の日となりました。夏休みが明けて、ついこの間全校集会で皆さんの前で話しをしたと思ったら、アツという間に秋休みです。本当に時の経つのは早いものです。

まずは、4月から約半年間「お疲れさまでした」。生徒の皆さん、先生方のお陰で、多くの学校行事、活動において成功を収めることができました。その背景には、ここにいる多くの皆さんが何事にも一生懸命な取組があったからこそだと私は強く感じています。9月1日に「手を抜かず、妥協せず、一生懸命な態度は、周りの人たちに前向きな気持ちにもたせ、勇気と希望のパワーを与える」という話をしましたが、まさに皆さんそれぞれの言動を私が見聞きし、感動させてくれたのだと痛感しました。

9月大忙しの中、バスケットボール・ソフトボール・サッカー競技に参加した「スポーツ大会」そして「光 toku 祭」この2つの行事において皆さんの活躍はとても印象的でした。スポーツ大会では、手に汗握る接戦を勝利に結びつける粘り強い戦いを繰り広げてくれました。また「勝利のために全力で戦う姿」「疲れていても諦めずプレーする姿」そして「仲間を信じ励まし合いながら戦う姿」をたくさん見させてもらい、感動しました。結果は望んでいた通りではなかったかもしれませんが、日々の練習に一生懸命取り組み、全力を出し切ったことは自信をもっていいと思います。本当によく頑張りました。光 toku 祭では、実行委員から「多くの方々の笑顔が見れたことがうれしかった」という感想が象徴するように、地域の方々、保護者の方々、検見川高校吹奏楽部の皆さんたちに喜んでいただくよう温かく丁寧にもてなす姿が素晴らしいと感じました。エンディングでも話しをしましたが、来場された方々から「挨拶・接客マナーが素晴らしい」「説明が丁寧」「製品の質が高い」「体験コーナーがとてもおもしろかった」「何事も一生懸命に取り組む姿勢は気持ちがいい」など多くのお褒めの言葉をいただきました。何事も一生懸命に取り組む姿勢の表れだと改めて確信することができました。

前期大いに活躍してくれた生徒の皆さん、本校の伝統を引き継ぎ、素晴らしい学校であることを証明してくれたことに感謝します。ありがとうございました。しかし、個人個人においてはそれぞれの課題もあると思います。現場実習でお世話になった方々から改善点を指摘されたことや学校生活で、友人を思いやることができなかった言動があったことなど報告を受けています。1年生は高校生活に慣れ見通しがもてた前期、2年生は1年生の時に学んだ成果を初の現場実習でチャレンジした前期、3年生は卒業後を見据え自分自身としっかりと向き合い、今まで培った学習の成果を発揮する勝負の前期、それぞれであったと思います。前期をしっかりと振り返り、後期に向けての準備を進めてください。5日間という短い秋休みですが、事故怪我無く充実した休みにしてください。10月15日に新たな気持ちで会えることを楽しみにしています。

※千葉県特別支援学校高等部スポーツ大会結果報告

【男子バスケットボール部】**祝** 準優勝

1・2回戦勝利 決勝進出：VS 市川大野高等学園 22-47 惜敗

【女子バスケットボール部】**祝** 準優勝

1回戦 (VS 鶴舞風の丘分校 勝) 決勝：VS 市川大野高等学園 13-39 惜敗

【サッカー部】**祝** 優勝

1回戦 (VS 榎の実特別支援学校 勝)・2回戦 (VS 館山聾学校 勝)

【ソフトボール部】**祝** 決勝進出 ※降雨のため、抽選「準優勝」

1回戦 (VS 流山高等学園 勝) 決勝：VS 市川大野高等学園 4-4



「第13回光 toku 祭」

大盛況 **祝**

880名の方々に

ご来場いただきました。
ありがとうございました！！

